

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 国語 科目 現代文演習

单位数： 2 单位

使用教科書： ニューフェイズ 現代文2+【第一学習社】

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、現代の評論読解に必要な漢字や語句の運用について理解を深めることができるようにする。			評論や小説の構成やを理解し、評論における筆者の主張や小説における登場人物の心情などを読み取るようにする。			自ら主体的に学び、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	長文演習（評論・基礎編）	・評論の読解の仕方を習得する。 ・実際に問題に取り組むことによって、記述式、選択式の問題に慣れ、解答の求め方を理解させる。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	12
	長文演習（評論編・応用編）	・語彙に関する演習を重ね、小テストを行うことによって、豊富な語彙を身に付ける。 ・毎回、ひとりずつ語句に関する発表を行い、語彙を身に付けるとともに話す力と聞く力も養う。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	14
	長文演習（小説編）	・小説の読解の仕方を習得する。 ・実際に問題に取り組むことによって、記述式、選択式の問題に慣れ、解答の求め方を理解させる。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	8
	要約練習と発表	・要約の基礎を身に付ける。 ・語彙に関する演習を重ね、小テストを行うことによって、豊富な語彙を身に付ける。 ・毎回、ひとりずつ語句に関する発表を行い、語彙を身に付けるとともに話す力と聞く力も養う。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト・発表内容等	○	○	○	10
	定期考査						○	○		2
2 学 期	長文演習（評論編・実践編）	・漢文の訓読の基礎や基本句形を確認する。		○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	20
	定期考査			○	○		○	○		2
3 学 期	入試問題演習	・実際の問題に取り組み、実力を確認する。		○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○		2
										合計
										70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 国語 科目 古典演習

单位数： 2 单位

使用教科書： 新訂版 正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ1【数研出版】

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
古典を読むために必要な基礎的な語彙や文法事項について理解を深める。			古典の文章を的確に読み取り、自分の考えを深めることができるようにする。			古典の話のおもしろさを感じ、自ら主体的に学ぶ態度を養う。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書・読						
1 学 期	古文の基礎 (今昔物語)	・古文の基本的な文法事項（動詞の活用等）を確認する。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	12
	古文の基礎 (平家物語)	・語彙に関する演習を重ね、小テストを行うことによって、豊富な語彙を身に付ける。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	14
	古文の応用 (徒然草)	・古典作品を読み進めて読解の応用力を身につける。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	8
	古文の応用 (更級日記)	・様々なジャンルの古典作品を読み進めて読解の応用力を身につける。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト・発表内容等	○	○	○	10
	定期考査						○	○		2
2 学 期	漢文	・漢文の訓読の基礎や基本句形を確認する。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	10
	漢文	・漢文の訓読の基礎や基本句形を確認する。	○	○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○	○	12
3 学 期	入試問題演習	・実際の問題に取り組み、実力を確認する。		○	○	・知識・技能 ・思考力、判断力、表現力 ・提出課題・小テスト等	○	○		2
合計										
70										

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学鑑賞

教 科： 国語 科 目： 文学鑑賞 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（地橋・酒井）

使用教科書：（『精選文学国語』三省堂・『小説速読トレーニング』数研出版・『国語便覧ワークノート』第一学習社

教科 国語 の目標：
【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学鑑賞 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、文学の鑑賞に必要な漢字や語句の運用について理解を深めることができるようにする。	語彙や文章構成を駆使して適切に表現する力を伸ばすとともに、小説作品から自身の想像を膨らませ、鑑賞の経過や心の動きの変化を適切に表現することができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、論理的に構成された文章の意義や価値を確かめさせ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	小説作品多読多解①	○主に現代短編小説の多読多解に取り組ませながら、下記の指導を行う。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○中古文文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる。 ・小説速読トレーニングを1回～5回を実施し、実力を高めさせる。 ・小説作品の読解を行わせる。	○	○	○	・小説の読解を通して、自らの考えを適切な語彙や文章で表現することができている。 ・小説の読解を通して、他者の考えに触れ、自らの理解や思考を深めることができてい る。 ・文学史の学習を通して、我が国の言語文化の特徴とその価値について適切に理解することができている。 ・小説を迅速に読解し、その内容を適切に理解することができている。 ・自らの学習を振り返り、今後の小説読解の目標と道筋を設定することができている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	既習内容を正確に理解できている。	○			1
	小説作品多読多解②	○主に現代短編小説の多読多解に取り組ませながら、下記の指導を行う。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○中古文文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる。 ・小説速読トレーニングを6回～10回を実施し、実力を高めさせる。 ・小説作品の読解を行わせる。	○	○	○	・小説の読解を通して、自らの考えを適切な語彙や文章で表現することができている。 ・小説の読解を通して、他者の考えに触れ、自らの理解や思考を深めることができてい る。 ・文学史の学習を通して、我が国の言語文化の特徴とその価値について適切に理解することができている。 ・小説を迅速に読解し、その内容を適切に理解することができている。 ・自らの学習を振り返り、今後の小説読解の目標と道筋を設定することができている。	○	○	○	16
	定期考査				○	○	既習内容を正確に理解できている。	○		
2 学 期	小説作品多読多解③	○主に現代短編小説の多読多解に取り組ませながら、下記の指導を行う。 ・初読の感想を共有するための話し合い活動を行わせる。 ・読解ポイントの確認と再読を行わせる。 ・鑑賞のまとめとしてのレポートを作成させる。 ○中古文文学史における基礎知識を学習させ、身に付けさせる。 ・文学史上の作品群の位置づけや価値を確認させる。 ○小説の速読力・読解力を向上させる。 ・小説速読トレーニングを11回～15回を実施し、実力を高めさせる。 ・小説作品の読解を行わせる。	○	○	○	・小説の読解を通して、自らの考えを適切な語彙や文章で表現することができている。 ・小説の読解を通して、他者の考えに触れ、自らの理解や思考を深めることができてい る。 ・文学史の学習を通して、我が国の言語文化の特徴とその価値について適切に理解することができている。 ・小説を迅速に読解し、その内容を適切に理解することができている。 ・自らの学習を振り返り、今後の小説読解の目標と道筋を設定することができている。	○	○	○	16
	定期考査				○	○	既習内容を正確に理解できている。	○		

[illegible]

高等学校 令和 7 年度（3 学年用） 教科 国語 科目 国語表現

单位数： 2 单位

使用教科書：（「国語表現」大修館）

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 ・ 文	書	読					
1 学期	単元 小論文・レポート入門 自分の意見の理由・根拠をはっきり示しながら論理的に文章を書く。	「反論を想定して書く」 「文章を読み取って書く」 「発想を広げて書く」 ①小論文の構成を理解する。 ②テーマに対して意見を持つことができる。 ③構成を考えて意見を書く。		○	○	①小論文の構成を理解している。 ②テーマに対して意見を持つことができる。 ③構成を考えて意見を書いている。	○	○	○	28
2 学期	単元 会話・議論・発表 目的に合った話し方を身につけ、効果的な表現方法を工夫する。	「建設的な議論の進め方」 「スピーチをしよう」 「プレゼンテーションの工夫」 ①話し合いの方法を理解する。 ②効果的な話し方を考える。 ③相手を納得させる話の進め方を考える。		○		①話し合いの方法を理解している。 ②効果的な話し方を考えている。 ③相手を納得させる話の進め方を考えている。	○	○	○	28
3 学期	単元 表現を楽しむ 言葉の感覚を身につけ語彙力を高めるさまざまな活動に取り組む。	「言葉で遊ぶ」 「魅力的なポスターを作ろう」 「エッセイを書こう」 ①言葉や表現を工夫する。 ②語彙を増やす。		○	○ ○	①言葉や表現を工夫している。 ②語彙を増やしている。	○	○	○	14
										合計
										70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語			科目 論理国語						
教 科： 国語		科 目： 論理国語		単位数： 3 単位					
対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組									
教科担当者：（1 組：酒井）		（2 組：余野）		（3 組：酒井）					
				（4 組：余野）					
				（5 組：酒井）					
				（6 組：余野）					
使用教科書：（「精選 論理国語」三省堂）									
教科 国語 の目標：									
【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする									
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。									
【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。									

科目 論理国語		の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、論理的に構成された文章表現のありかたや、場面や意図に応じた適切な語彙選択に対する理解を深めることができるようにする。□	語彙や文章構成を駆使して適切に表現する力を伸ばすとともに、示された文章内容を表現に即して適切に読み取り、読み取った考え方に対して持論や意見を持つことができるようにする。□	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、論理的に構成された文章の意義や価値を確かめさせ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。□	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話 ・ 品	書	読					
1 学 期	単元 情報社会を生きる 情報社会を生きるうえで大切なことを考える。	「ぬくみ」 「ネット上の発言の劣化について」 ①評論文の構成を理解する。 ②筆者の考えを正確に読み取る。 ③構成を意識して考えを表現する。	○	○	○	①評論文の構成を理解している。 ②筆者の考えを正確に読み取っている。 ③構成を意識して考えを表現している。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
	単元 生命について考える 様々な観点から生命について考える。	「病と科学」 「動的平衡」 ①評論文の構成を理解する。 ②筆者の考えを正確に読み取る。 ③構成を意識して考えを表現する。	○	○	○	①評論文の構成を理解している。 ②筆者の考えを正確に読み取っている。 ③構成を意識して考えを表現している。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
	2 学 期	単元 リスク社会を生きる 「リスク社会」について考える。	「コンソルドの誤り」 「リスク社会論」 ①評論文の構成を理解する。 ②筆者の考えを正確に読み取る。 ③構成を意識して考えを表現する。	○	○	○	①評論文の構成を理解している。 ②筆者の考えを正確に読み取っている。 ③構成を意識して考えを表現している。	○	○	○
定期考査							○	○		1
単元 言葉を見つめる 社会的視点から言葉を考える。		「夢は何語で見る？」 「対話の言葉を作る」 ①評論文の構成を理解する。 ②筆者の考えを正確に読み取る。 ③構成を意識して考えを表現する。	○	○	○	①評論文の構成を理解している。 ②筆者の考えを正確に読み取っている。 ③構成を意識して考えを表現している。	○	○	○	20
定期考査							○	○		1
3 学 期		単元 心と向き合う 心について様々な視点から考える。	「恐怖とは何か」 「生命との関わり」 ①評論文の構成を理解する。 ②筆者の考えを正確に読み取る。 ③構成を意識して考えを表現する。	○	○	○	①評論文の構成を理解している。 ②筆者の考えを正確に読み取っている。 ③構成を意識して考えを表現している。	○	○	○
	定期考査						○	○		1
										合計
										105